

2017 年 11 月 8 日

ボルグワーナー

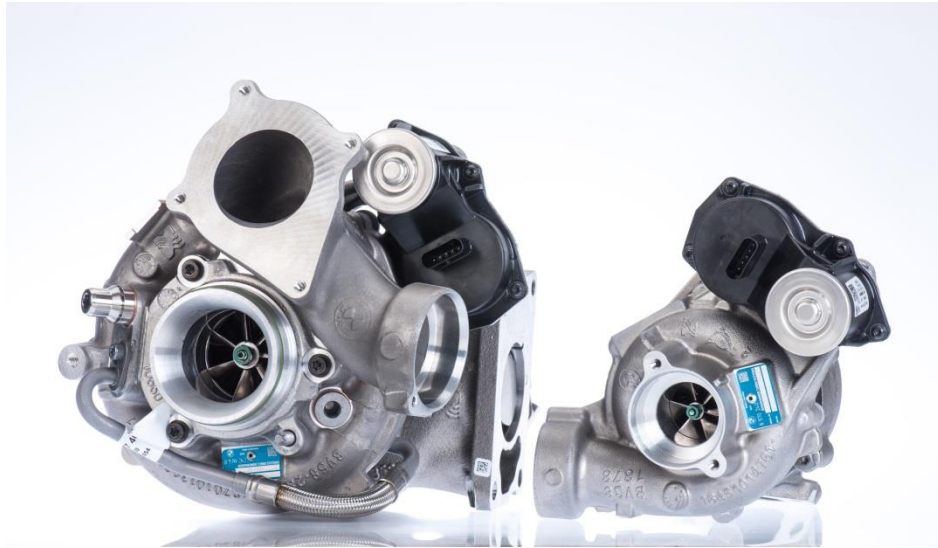
ボルグワーナー、2基のVTGターボチャージャーを搭載した R2S[®]過給システムによりBMWのエンジン性能を向上

- 瞬間的な加速と最適な出力で優れたドライビングエクスペリエンスを提供
- 燃費の向上と排出ガスの削減によりクリーンエンジンコンセプトを実現
- 低圧段と高圧段の双方に VTG ターボチャージャーを採用

ボルグワーナー(本社:アメリカ合衆国ミシガン州アーバンヒルズ、社長兼最高経営責任者:ジェームズ・ベリアー/James Verrier)は、内燃機関、ハイブリッド、電気自動車向けのクリーンで高効率な技術ソリューションを提供するグローバルなリーディングカンパニーとして、BMW グループのさまざまなモデルに搭載されている235kW(315HP)ディーゼルエンジンの性能向上を図りました。ボルグワーナーの2基の可変タービンジオメトリー(VTG)ターボチャージャーを搭載した Regulated 2-Stage (R2S[®]) 過給システムは、力強いブーストで素早い加速を実現する同時に、大幅な排出ガス削減と燃費改善を実現します。

ボルグワーナーの R2S 過給技術の新たな応用では、2基の VTG ターボチャージャーを直列に接続します。小型の高圧段ターボチャージャーは、主に低エンジン回転数領域における過給を担います。エンジン回転数が上がると、徐々に大型の低圧段ターボチャージャーの過給に切り替わります。低圧段側にも VTG ターボチャージャーを採用することによってエンジンの過渡応答性をさらに強化し、優れた加速性能を得ることができます。また、迅速に応答する R2S システムは、ターボラグの最小化と、排出ガスおよび燃費の向上も実現します。

ボルグワーナーのターボチャージャー関連事業を展開するグループ会社、ボルグワーナー・ターボシステムズの社長兼事業本部長であるフレデリック・リサルド(Frederic Lissalde)は、「当社の革新的な R2S システムに最新の VTG ターボチャージャー2基を組み合わせることで、低エンジン回転数でも瞬間的な加速と効率の向上を実現しました。BMW グループとの協業において、パワフルかつ効率的であると同時に、経済的で環境にやさしく、ダイナミックなエンジンの開発に貢献できました。」と述べています。



ボルグワーナーの2基のVTGターボチャージャーを搭載したR2S®過給技術が、
BMWグループのさまざまなモデルの性能と応答性を高め、
燃費の向上と排ガスの削減を実現

ボルグワーナーについて

ボルグワーナー（NYSE: BWA）は、自動車の内燃機関、ハイブリッド、電気自動車向けのクリーンで高効率な技術ソリューションを提供するグローバルなリーディングカンパニーです。世界17カ国62カ所に生産・開発拠点をもち、全世界でおよそ27,000人の従業員を擁しています。詳細については、borgwarner.comをご覧ください。

本プレスリリースに記載された内容には、経営陣の現在の見通し、期待、推測、予測に基づく、1995年米国私的有価証券訴訟改革法で想定された将来予測に関する記述が含まれている場合があります。「見込む」、「考える」、「継続する」、「可能性がある」、「目的とした」、「もたらす」、「推測する」、「評価する」、「期待する」、「予測する」、「目標」、「取り組み」、「意図する」、「見通し」、「計画する」、「潜在的」、「計画」、「追求する」、「目指す」、「すべき」、「目標とする」、「の場合」、「と見込まれる」といった文言、その変化形、同様の表現は、かかる将来予測に関する記述であることを明示することを意図しています。将来予測に関する記述にはリスクと不確実性が付随しますが、そうしたリスクや不確実性の多くは予測困難かつ一般に不可抗力によるものであり、将来予測に関する記述において表現、予測、示唆された事柄が実際の結果と著しく異なる場合があります。そうしたリスクおよび不確実性には、国内外の車両生産の変動、OEM企業による外部サプライヤーの継続的な利用、当社製品が使用された車両の需要の変動、一般的な経済情勢の変化、直近のForm 10-K年次報告書で挙げたリスク要因をはじめとして当社が証券取引委員会に提出した報告書で述べたリスクが含まれます。当社は、将来予測に関する記述のいずれかを更新する、または更新もしくは改訂を公表する義務を負いません。

<報道に関するお問い合わせ>

ボルグワーナー広報事務局 副島、中井、小田
TEL : 03-3571-5326 FAX : 03-3574-0316